

みんなの未来予測を未来に送ろう

めあて

未来予測をするための情報を集めよう。

未来予測に生かす
 予測(主張)
 当時の様子(根きよ)
 文章表現
 ・ただありませぬ
 ・どこるか、ささえ
 ・でしよう。
 ・もしかしたらかも

書き方
 《未来予測》【分野】
 予測
 根きよ
 利点
 問題点

この2枚はこれまでの授業で使ったものを掲示する。

何を調べる
 ・現在の様子
 ・最新の情報
 ・現在の様子と昔の様子の变化

何を使って調べる
 ・図書の本
 ・辞書・辞典
 ・新聞(子ども新聞)
 ・インターネット
 ・インタビュー

5 / 11 時間目 指導略案

使用するワークシート…

活動のねらい

「予測」「根きよ」「現在の様子」「利点」「問題点」の四つのポイントをふまえて情報を収集させる。

1 めあてを確認し、学習の見通しをもつ。

2 情報を収集する際の未来予測の観点を確認する。
 未来予測を書くためのポイントを思い出す。

予測
 現在の様子(根拠)
 利点や問題点

「同じ分野」とありますが、パネルディスカッションのグループを作るためのものです。
 グループで分野を決定してから調べる項目を決める方法と、調べる項目をそれぞれが決めたあとに分野別のグループにまとめる方法が考えられます。
 学級の状態に合わせて考えてほしいところです。

予測が空想的にならないように、現在の様子(根拠)を明確にすることを伝える。
 同じ分野でパネルディスカッションを行うので、同じ情報はかりにならないように気を付けさせることに留意しておく。

3 調べることを明らかにし、調べる方法を確認する。

何を調べるのか意見を出させ、見通しをもたせる。
 調べる方法において、児童数の数だけ準備できないものもあるので、時間の制限や決まりを確かめておくことよ。
 例 インターネットの情報は、必要な分だけを印刷する。(範囲指定印刷)
 の本や新聞は数が足りないので、コピーを取る。など

評価 意欲をもつて調べ学習を行っている。

四つのポイントを踏まえ、必要な資料を取捨選択しながら探している。

4 学習を振り返り、自己評価をする。

調べるための時間は、本時のみでは足りないと考えられるので、休み時間や家庭学習の時間に調べさせるようにしていきます。